

# 栃木県農業共済組合 (NOSAI とちぎ)

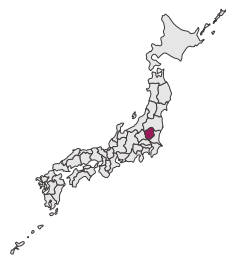
## 1 栃木県の紹介

栃木県は関東地方の北部に位置する内陸県です。関東平野の北端を形成し、面積は関東地方で最大の約 6,408km<sup>2</sup>です。県庁所在地の宇都宮市をはじめ 14 市 11 町で構成され、人口は約 190 万人と全国 19 位、県民所得は全国 4 位です。

太平洋側気候を呈し、宇都宮市が別名「<sup>らいと</sup>雷都」と呼ばれるとおり、暖候期の雷件数は全国一です。冬季は少雨で晴天の日が多く、冷たく乾燥した北よりの強風は、県を代表する山にちなみ「<sup>ふたあら</sup>二荒おろし」「男体おろし」とも呼ばれています。

農業、工業、商業、観光業がバランスよく発展しており、特に「ものづくり県」を標榜するとおり県内総生産に占める製造業の比率は 41.2% で全国 2 位。中でも自動車・航空・輸送用機械や、医薬・医療関連が集積しています。

北部には殺生石や<sup>けごんのたき</sup>華厳滝、皇室の御用邸や世界遺産でもある「日光の社寺」などの景勝地があります。中央部には近代建築の発展を支えた大谷の採石場跡、南部には日本最古の足利学校で知られる歴史的な建造物や美術館などがあります。



映画等のロケ地としても有名な大谷資料館

世界遺産でもある日光二社一寺と男体山



華厳滝と中禅寺湖



奥日光湯元温泉  
那須塩原地域と並ぶ温泉地



古い町並みが残る  
栃木市「蔵の街遊覧船」



2023 年に開業した路面電車  
「芳賀・宇都宮 LRT」

## 2 栃木県の農業

本県の農業産出額は全国 9 位の約 2,700 億円。耕地面積は 12 万 1,400 ha で全国 10 位、農業経営体数は約 3 万 2 千経営体で全国 10 位です。恵まれた気候や都心からのアクセスの良さを活かし、首都圏農業の主要な柱を形成しています。

肥沃な土壌と豊富な用水に恵まれ水田整備率も高く、米・麦・大豆を中心とした大規模な土地利用型農業が営まれています。また、いちご・なす・トマト・スプレー菊・

梨をはじめとする園芸作物の生産も盛んです。

那須塩原市や大田原市、宇都宮市は国内有数の米どころとなっているほか、那須塩原市では酪農も盛んであり、生乳生産量は本州 1 位を誇ります。真岡市や鹿沼市などを中心にいちごの生産量が半世紀以上全国 1 位と大変盛況であり、壬生町や鹿沼市のかんぴょうとともに県の特産品となっています。



生産量全国1位の「いちご」



県を代表する果樹「なし」



生産量全国1位の「かنبいょう」



全国でも稀な生産量全国1位の「野州麻」



生乳生産量は本州1位



高原作物などを栽培する鶏頂山のハウス群

### 3 栃木県農業共済組合（NOSAI とちぎ）の概要

NOSAI とちぎは2017年4月3日に県内9つの組合が合併し発足しました。

より強い組織力を訴求するため、支所統合を含む組織再構築の検討を開始しています。

【所在地】栃木県宇都宮市平出町前表319-1

【理事】9名

【監事】3名

【職員数】236名

(うち獣医6名)



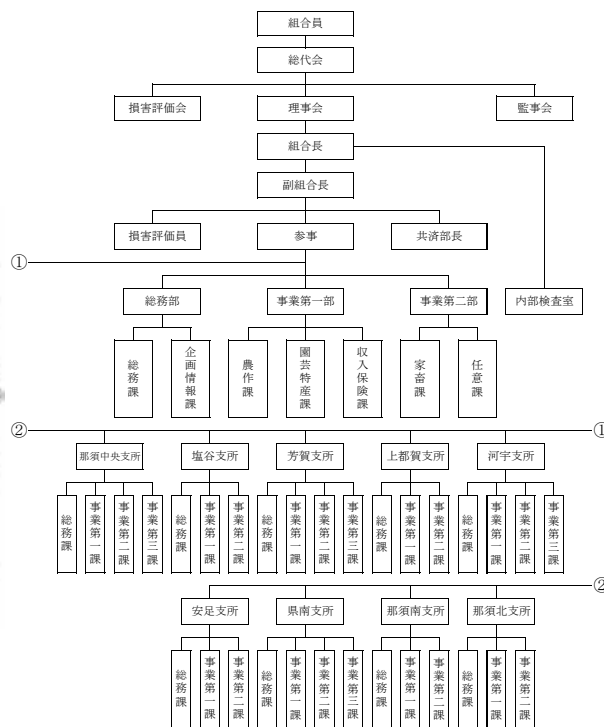
栃木県農業共済組合本所



共済地区区分図

栃木県農業共済組合機構図

令和6年4月1日 現在



### 4 栃木県農業共済組合（NOSAI とちぎ）の活動

農政の動きと呼応し、防災、減災、国土強靱化対策の強化を図るとともに、幅広く生産基盤の強化に資するため、「強い農業・農村」の構築に向けての取り組みを進めています。収入保険及び農業共済をすべての農業者により広く普及させ、持続可能な農業生産基盤の確立を推進しています。

農業保険は農業経営の基幹的補償対策です。関係機関と連携して制度の仕組みを周知し、組織を挙げて加入推進を進めるとともに、共済事業の効率化及び安定的な運営に向けて実施体制の改善を図るため、2030年度の整備完了に向けた組織再構築の工程を進めています。



第8回通常総代会



収入保険の推進



JAグループ栃木主催「パワフルアグリフェア」への出展